

# ふるさと じまん

わたしのお気に入り

大阪府 堺市



## チンチン電車 堺ぶらり旅

高木祥広  
(平成15年卒)



1 チンチン電車と「堺伝匠館」

大阪府堺市には阪堺電車という路面電車が走っています。市民にはチンチン電車と呼ばれ、堺市内の路線はほぼ旧紀州街道に沿って走っています。この沿線には「与謝野晶子生家跡」、「千利休屋敷跡」、「ザビエル公園」など堺の名所が集中しているので、チンチン電車を利用すれば大阪市内からのアクセスもよく、旧来の堺市街地の雰囲気を感じながらのんびりと多くの観光スポットを訪れることができます。今回はこのエリアにある「堺伝匠館」と「さかい利晶の杜」をご紹介します。

### 妙国寺前駅

#### 「堺伝匠館」

チンチン電車を妙国寺前駅で降り、南西へ約3分歩いた所にある「堺伝匠館」は、堺伝統産業会館という施設が令和4年3月にリニューアルオープンしたもので入館無料です。堺市は「堺打刃物」や「注染（浪華本染め）」「線香」をはじめとする伝統産業の産地ですが、OEM生産（他社ブランドの製品を製造すること）が多く、認知度が低いそうです。堺の人たちも、地元の物だと意識せずに利用しているものもあるかもしれま

せん。

本施設1階は「TAKUMI SHOP（タクミショップ）」と呼ばれており、多種多様な包丁や注染・和晒、線香、昆布製品のほか、堺ゆかりの和菓子などが購入できます。一見どこにでもあるものばかり、と思われるかもしれませんが堺でこんなものが作られているのだと大雑把に把握できると思います。また物販だけではなく、刃物職人による包丁研ぎ直しの実演も実施しており、見学はもちろん包丁を持ち込めば有料ですが研ぎ直しもしてもらえます。

2階に上がると左手に、堺刃物



2 「HIBANA火刃七」

ミュージアム「CUT」があります。堺打刃物は約600年の歴史があり、「鍛冶」「研ぎ」「柄付けや仕上げ」という3つの工程をそれぞれ違う職人が担当する「分業制」でつくられるのが特徴です。ここでは堺打刃物の歴史や製造方法及び道具などの展示をみることができますが、入ってすぐ目に飛び込んでくるのは包丁の工程ごとの素材を用いて製作したシャンデリア、「HIBANA火刃七」です。これは当施設のシンボルであり、見れば見るほど職人の技術の高さ、包丁の美しさに感心させられます。しかしながらいくら美しくても危険ですので家に飾るのはお勧めできません。

「CUT」を出ると正面に、堺の伝統産業に関する歴史、製法、道具等を展示する「TAKUMI EXHIBITION (タクミエキシビション)」があります。ここでは注染・和晒、線香、昆布加工、敷物、堺五月鯉幟、和菓子の歴史や製法などが紹介されています。

## ■ 堺の伝統産業 ■

TAKUMI EXHIBITIONより

**【浪華本染め】** 堺は木綿産業が盛んな河内・和泉の間に位置することから、生地を染める下準備である「晒」の技術が発展しています。洋晒にくらべて和晒は柔らかく吸水性に優れています。堺ではそれを注染という技法で染め上げ、近年では、その多くが手ぬぐいとして加工されています。

**【堺線香】** 堺の線香は、厳選した天然の香料を組み合わせるのが特徴で、「香りの芸術品」ともいわれています。堺は古くから外国との交流が盛んであり、原料となる香木が手に入りやすかったので線

香づくりが発展したと考えられています。

**【手すき昆布】** 手すき昆布は1枚1枚職人の手ですかれます。堺は刃物づくりが盛んなため、昆布をすく包丁が作られやすい環境にありました。江戸時代に北海道の昆布が堺に届くようになると、堺は昆布加工の一大産地となっていきました。うどんにバッテラなど、大阪の食を支える昆布加工品の多くは堺でつくられています。

**【堺手織段通】** 段通とは、中国から伝わり日本で織られるようになった手織りの敷物です。

堺の段通は江戸時代に誕生し、明治時代には外国にも盛んに輸出されました。

**【堺五月鯉幟】** 紙でできた鯉をヒントに生まれた堺五月鯉幟は、数十種類の筆を使い分け手描きで作られます。子供の日を祝う縁起物として今でも人々に親しまれています。

**【和菓子】** 中世の堺は国際貿易都市として栄え、海外から様々な物や文化が入ってきました。砂糖など和菓子に使う原材料が海外からもたらされたことで、茶の湯文化とともに堺の和菓子は発展しました。



3 「さかい利晶の杜」 4 「千利休屋敷跡」(「さかい利晶の杜」2階より)  
5 「ちく満」 エントランス

2階の展示をひと通りみて階段を降り、最初に訪れた「TAKUMI SHOP (タクミショップ)」を覗いてみると、先ほど見た同じ商品にまた違った魅力を感じることでしょう。展示を見て気になった物、気に入った物をお土産として購入し、友人や家族にここで得た商品に関する蘊蓄も添えて手渡すのはいかがでしょうか。

### 宿院駅 「さかい利晶の杜」

さて、先ほどのチンチン電車妙国寺前駅から南へ2駅先、宿院駅近くには「さかい利晶の杜」というガラス張りの近代的な建築物があります。この名称は堺出身の偉人、千利休と与謝野晶子にちなんで名付けられました。

館内に入ると吹抜けの広いエントランスは観光案内展示室となっており、床には1863年の堺の地図が描かれています。そしてその奥にはレトロな雰囲気のある街のジオラマがあります。これは、1937(昭和12)年ごろの堺宿院の交差点付近

の様子を50分の1のサイズで再現したものです。現在この「さかい利晶の杜」の建つ場所はかつて堺市民病院だったそうで、位置関係を把握した上で現在の街並みと比較するのも楽しいです。

更に奥には「千利休茶の湯館」及び「与謝野晶子記念館」があります。有料エリアですが、千利休と安土桃山時代の堺、与謝野晶子と明治大正時代の堺を更に深く知ることができます。

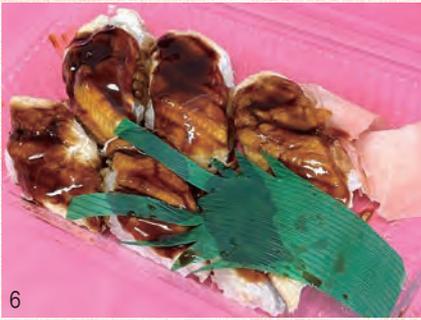
施設東側には三千家の家元が命名した茶室が一堂に会する三千家茶室があり、自由に見学することができます。それとは別に立礼茶席もあり、表千家・裏千家・武者小路千家のお点前により椅子席でお抹茶とお菓子を味わえます。これは予約制で有料です。

西側屋外にある「にぎわいの道」には様々な花や木が植えられており、四季の変化を感じることができます。すぐ隣がスターバックスですので、飲み物片手に散策してみるのもオシャレな感じですよ。



### 宿院駅・御陵前駅 「ちく満」と「深清鮎」

その「さかい利晶の杜」の近くに、堺では有名な老舗のお蕎麦屋さん「ちく満」があります。以前はかなり年期の入った町屋造りのような佇まいだったと記憶していますが、現在は2022年11月にリニューアルオープンし、とても1695年創業とは思えないモダンな外観となりました。こちらのお蕎麦は茹でた後に蒸しているそうで、見るからにフニャフニャですし実際こしもなくフワッとしています。唇だけでも噛みきれられるほどですので、無歯顎の方でも安心してお召し上がりいただけます。柔らかさにはばかり気を取られがちですが、一般的なお蕎麦と違い口の中で崩れていきますので、蕎麦の形がなくなるにつれ蕎麦の香りと甘みが強くなるのに気がつきます。た



6

6「深清鮭」の穴子にぎり

だ、多くの方が想像されるような蕎麦を期待して来られるとがっかりしますので、全く別の食べ物だというつもりで訪れてください。

堺には他にもフワッとした名物があります。宿院駅からチンチン電車で更に南に2駅、御陵前駅から5分程歩いたところにある「深清鮭」の穴子寿司です。にぎりと箱寿司が提供されていますが、穴子のにぎりはフワフワで口の中ですとろけるほどです。

高度経済成長期以前、堺に臨海工業地帯ができるまでは堺ではよく肥えた穴子がたくさん捕れたそうです。堺の穴子は独特の風味があると、京都・大阪の料亭や寿司屋でも大人気で昔の堺の郷土料理を語る上では穴子は重要な食材でした。今では堺では穴子はほとんど捕れないそうなので、今もこれほどおいしい穴子寿司を提供できるのは、現在まで大変な努力と工夫を続けてこられたのだと思います。

フワフワといえば、大阪で人気のある「今井」のおうどんも「一芳亭」のシュウマイも「りくろーおじさんのお店」のチーズケーキもみんなフワフワ、大阪人はやたらフワフワした食べもんが好きなんかもしれません。

## 「MI-TE さかい」

最後に、少し高いところからこれまで歩いた堺の町を眺めてみるのはいかがでしょう。「さかい利晶の杜」近くからバスに乗り、堺市役所前で降り、堺市役所に向かいます。堺市役所21階には「MI-TE さかい(みてさかい)」という展望ロビーがあり、入場無料です。360度の展望が楽しめる回廊式ロビーで、有名な仁徳天皇陵古墳(大仙古墳)はもちろん、遠くは六甲山、あべのハルカス、金剛山等が見渡せます。仁徳天皇陵古墳の大きさをイラストで示した展示や、市内観光スポットの情報やアクセスが簡単に分かるジオラマなどがあります。広々としたスペースにテーブルやベンチもあるので、ゆっくりとくつろぎながら景色を楽しめます。

## 堺からのアクセス

堺市は大阪府内で大阪市に次いで2番目に広い都市です。そのせ

いか、「堺は遠い」という声をよく耳にします。しかし最後にご紹介した堺市役所の最寄駅、南海高野線堺東駅を利用すれば道頓堀近くの難波駅まで急行で12、3分、更に地元ではここが「大阪」と呼ばれるほど大阪の中の大阪、梅田までは、難波から地下鉄で8分程度の便利さです。難波で阪神線に乗れば神戸三ノ宮方面に、近鉄を利用すれば奈良、三重、名古屋に移動できます。また、堺と難波間にある南海線の天下茶屋駅は京都の嵐山や河原町行きの電車に接続していますし、「大阪」から南に向かって和歌山や関西国際空港へ向かう皆さんは電車で居眠りをしたりスマホをいじっている間に堺を通過しています。

説明しているうちに結局難波が一番便利な気がしてきましたが、次に大阪に来られる際には少し遠くて程よく便利な堺に宿をとり、堺も楽しみながらうまく関西圏をまわってみてはいかがでしょうか。

7「MI-TE さかい」より望む仁徳天皇陵古墳(大仙古墳)と南海電鉄高野線

